

第51回技能五輪全国大会「和裁」職種競技課題

次の注意事項及び仕様に従って、女子用あわせ長着を仕立てなさい。

1 競技時間 9時間

2 注意事項

- (1) 統一材料を使用し、仕立て寸法規定に従うこと。
- (2) コテ釜・コテ（2本使用可）を持参すること。
- (3) 使用工具等は、「使用工具等一覧表」で指定したもの以外は、使用してはならない。ただし、障害者の場合は、障害の程度に応じて、当該障害者が必要とする工具等の使用を認めるものとする。
- (4) 競技中は、工具等の貸し借りを禁止する。
- (5) 競技開始前に、針に糸を通してはならない。
- (6) 作品をたたみ上げた時点をもって作業終了とするので、作業を終了したものは、その旨競技委員に申し出ること。
- (7) 競技終了時間になった旨を知らされた場合は、直ちに作業をやめ、競技委員の指示に従うこと。
- (8) 作業時の服装等は、作業に適したものであること。

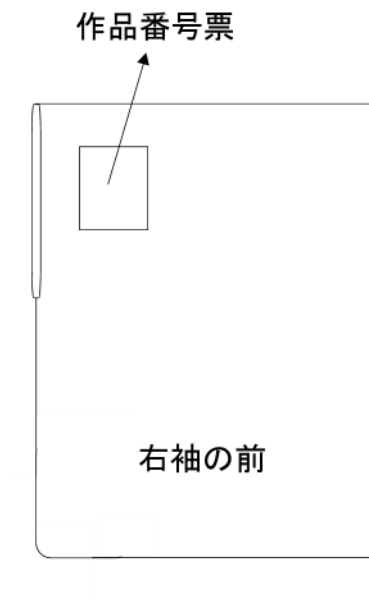
3 仕 様

・仕立て寸法	身丈・・・背から4尺2寸
	袖丈・・・1尺3寸
	衿・・・1尺7寸5分
	袖巾・・・9寸
	袖付・・・6寸
	袖口・・・6寸
	後巾・・・8寸
	前巾・・・6寸5分
	抱巾・・・6寸5分
	衽巾・・・4寸
	合襖巾・・・3寸8分
	繰越・・・5分
	襖下・・・2尺1寸

その他の寸法は標準寸法に準ずる

- (1) 前加工(ガード加工)はしないこと
- (2) すべての箇所についての幅のしるし付け(へら・チャコ等)、折りはしてきてはいけない。ただし、表、裏のおくみのしるしはしてきてよい。
- (3) 事前に縫い上げておく箇所は、次のとおりとする。
右そで。えり先布と裏おくみのこはぎ。裏は胴裏、裾回し(八掛け)胴はぎまで。(胴裏の背縫いは自由とする)
- (4) 競技会場で行うものは、次のとおりとする。
左そでと表身ごろ、裏身ごろ前幅のしるし付け(へら付け)をし、おくみ付けから仕上がりまで。
- (5) えりは、表裏別縫いとし、えり先は本止めとすること。ただし、えり先縫い代を表裏のおくみではさむ。
- (6) 共えりは、別がけとする。ただし、くけは束ぐけでもよい。
- (7) そで口布は、回しがけとする。
- (8) 共えり及びつま下(えり下)のしつけは、してきてはならない。
- (9) しつけの種類は自由とする。
- (10) 三つえり芯の長さは8寸(30cm)以内とする。
- (11) 競技終了後のおもしはしてはいけない。

- (12) 作品番号票は、下図に示す位置に取れないように縫い付けること。ただし、縫い付ける時間は競技時間外とする。



公 表

第 5 1 回技能五輪全国大会「和裁」職種持参工具等一覧表

選手が持参するもの。（数量欄の数字は、特にことわりのない限り選手 1 人当たりの数量を示す。）

区分	品 名	規 格	数 量	備 考
材 料	表地	事前に配付した材料を持参のこと	1 枚分	仕様どおりに事前に裁断縫製したもの
	裏地	事前に配付した材料を持参のこと	1 枚分	仕様どおりに事前に裁断縫製したもの（通し裏は使用できない）
	三つえり芯		適 宜	
	すそ芯又はふきわた		適 宜	
	糸		適 宜	
工 具	コテ釜 コテ（2 本使用可）		1 台 1、2 本	

注意 その他、必要だと思われる裁縫用具一式を各自持参すること。ただし、アイロン（ベビーアイロンを含む）、霧吹き等他人に迷惑をかける恐れのあるものの持込みは禁止する。
裁ち板の足台の高さは 1 5 c m ないし 2 5 c m である。

公 表

第 5 1 回技能五輪全国大会「和裁」職種設備基準

競技会場に準備してあるもの。

品 名	規 格	数 量	備 考
裁 ち 板	1 8 0 × 4 5 × 4 . 2	1 枚 / 1 人	
作品番号票	10 c m × 5 c m	1 枚 / 1 人	
座 布 団		1 枚 / 1 人	
手元ライト		1 台 / 1 人	

公 表

第5 1 回技能五輪全国大会「和裁」職種採点基準概要

1. 採点項目等

採 点 項 目		配 点
製品採点	仕 様 誤 り	100
	で き ば え	

2. 採点項目別着眼点

- 袖口・口下・丸み
- 袖丈・袖巾・振り
- 袖付け・身八つ口・衿のつりあい
- 表・裏直線縫い 身巾のつり合い
- 身頃の立てとじ かぶり
- つま・裾ぶき
- つま下
- 表衿つけ・共衿つけ
- 裏衿つけ・衿とじ
- 衿くけ・衿先
- コテ光り、焼けこげ、しみ、入針 等

3. 採点方法

(1) 減点法式

(2) 未完成品は採点しない。(競技時間内に完成した作品のみ採点。)